

坊やすなが

(発行)自由民主党神戸市議員団 令和6年3月号
神戸市中央区加納町6丁目5-1 電話 078-322-5846



議長坊恭寿

【令和5年度主な諸役】
第105代神戸市会 議長
第65代全国市議会議長会 会長
日台友好神戸市議員連盟 会長
観光交流都市推進神戸市議員連盟 会長 等



令和5年5月12日 本会議 議長選挙

ごあいさつ

皆様には、日頃より 坊 やすなが に対しまして格別のご厚情を賜り心から御礼申し上げます。

この度の令和6年能登半島地震により犠牲になりました方々に心からご冥福をお祈りすると共に被災者の皆様にお見舞い申し上げます。1日も早い復旧復興を衷心よりご祈念申し上げます。

さて昨年4月の市議選におきまして皆様のご支援のおかげにより6回連続当選を果たさせていただきました。そして当選後の初本会議におきまして、2度目となる第105代神戸市会議長に再任され、6月には東京フォーラムで開催されました全国市議会議長会総会に於いて第65代全国市議会議長会会長に選出頂きました。

これもひとえにこれまでご支援下さいました市民の皆さまのおかげと心から感謝申し上げます。大役を仰せつかりましたので、更に精進を重ねて皆様のご期待に応えて参る所存でございます。

神戸市では震災から29年目を迎え、長年の行財政改革を経ていよいよ未来へ向けた本格的な投資を始め、震災で叶わなかった様々な政策が前進致しております。また2025年には神戸空港が国際化され神戸が更に飛躍するチャンスが到来します。私は市議21年の経験を活かして市会議長として神戸の未来創造に誠心をもって取り組んで参る所存でございます。引き続きよろしくお願い申し上げます。

合 掌

～心から感謝を込めて～

令和6年3月吉日

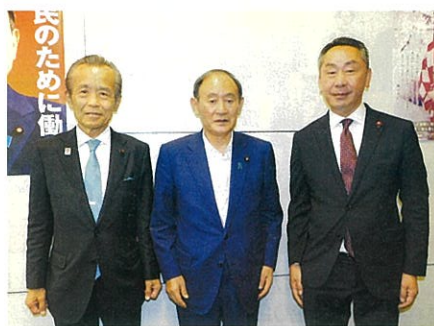
やすなが

第65代全国市議会議長会会長
神戸市会議長

坊 恭寿



第99回全国市議会議長会定期総会にて
第65代全国市議会議長会 会長 選任 (2023.6.14)



2023.6.15 <当日の活動抜粋>

- 市議会議員共済会 第1回理事会 開催
- 第126回代議員会 開催
- 新旧会長による挨拶回り
 - ・ 松本剛明 総務大臣
 - ・ 岡田直樹 デジタル田園都市国家構想担当大臣・地方創生担当大臣
 - ・ 菅 義偉 前内閣総理大臣
 - ・ 橘 慶一郎 自民党「地方議会の課題に関するPT」幹事長
 - ・ あかま二郎 自民党「地方議会の課題に関するPT」事務局長

全国市議会議長会会長に坊氏 神戸市会から67年ぶり

坊 やすなが
坊 恭寿さん



全国792市と東京23区の議会議長でつくる団体のトップに、神戸市会から67年ぶりに就いた。優秀な人材が政治家を目指したくなる仕組みが必要だ。深刻化する議員のなり手不足対策を「一丁目一番地に据える。大学時代、元文部相の砂田重民衆院議員(故人)の下で秘書を務めた。欲望が渦巻く政治の世界で、バランスを取りながら最適な法律や制度を導き出す現実を目の当たりにした。結果によつては「人から感謝される」仕事に引かれ、2003年に神戸市北区から立候補。連続6回

の当選を重ねてきた。市会議長に初めて就任した2年前、神戸から議長会会長を擁立しようとして決めた。神戸・三宮は再整備が進み、阪神・淡路大震災から立ち直った。「全国から支援を受けた恩を返すとき」。2度目の議長就任を受け

て、自ら名乗りを上げた。首相の諮問機関「地方制度調査会」の一員として、地方政治の現状を伝える役割を担う。議員はかつて地域の有力者だったが、時代は変わった。より幅広い人材が多様な視点で地域の未来を議論できないかと思う。だがハードルがある。活動を支える環境整備を訴える。「社会保障と言えぬのは国民年金だけ。退職金もない。これでは重要な課題に向き合える人材が集まらない」。制度改革に道筋をつけることを肝に銘じる。年間100日前後を東京での会議や要望活動に充てることになる。「神戸のPRを意識し、イメージを損なわないよう、おしゃれにも気を配りたい」と笑う。56歳。(金 曼華)

神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会



世界パラ陸上競技選手権大会は、国際パラリンピック委員会により創設された世界最高峰のパラ陸上競技大会です。1994年ドイツ・ベルリンで第1回大会が開催され、2011年から、2年ごとに開催され、東アジアで初めて2024年神戸で開催されます。

応援お願いします!

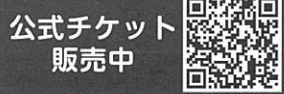


カウントダウンボード除幕式 (2023.5.17)



「神戸のつどい」東京にてPR活動 (2023.8.8)

開催時期 2024年5月17日(金)～25日(土)
競技会場 神戸総合運動公園ユニバー記念競技場
参加選手数 約100か国・地域
 約1,300人(見込み)



する、みる、ささえる スポーツ振興への取組

令和5年度 神戸市スポーツ表彰 神戸市スポーツ功労者表彰表彰式



神戸市スポーツ表彰・神戸市スポーツ功労者表彰表彰式 (2024.2.2)



第10回表彰式 スポーツ推進神戸市議員連盟表彰式(2023.12.19)

神戸市では、「する」「みる」「ささえる」取り組みを行っています。「するスポーツ」にはスポーツ施設の整備、様々な年代の方がスポーツに取り組める環境づくり、「みるスポーツ」には、市内に拠点を置くトップスポーツチームの試合観戦機会の提供などスポーツをみる環境の充実、「ささえるスポーツ」には、指導者やボランティアが活躍する機会の充実などによりスポーツをささえる人材の養成に取り組んでいます。

- ・第31回 全国身体障害者野球大会開会式 出席 (2023.5.13)
- ・第62回 神戸市障害者スポーツ大会 出席 (2023.6.4)
- ・第9回 表彰式 スポーツ推進神戸市議員連盟 スポーツ優秀選手・団体表彰 出席 (2023.6.23)
- ・三菱重工 West 硬式野球部 表敬訪問 出席 (2023.6.29)
- ・「神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会」開幕200日前セレモニー 出席 (2023.10.30)
- ・「神戸マラソン2023」スタートセレモニー・表彰式授与 出席 (2023.11.19)
- ・ラグビー「神戸スティーラーズ」表敬訪問 出席 (2023.11.30)
- ・ヴィッセル神戸2023 J1リーグ優勝を祝う会 出席 (2023.12.3)
- ・第9回 リアルチャンピオンシップ大会 出席 (2024.1.14)



神戸市スポーツ特別賞 フィギュアスケート坂本花織選手 贈呈式 (2023.8.10)



ヴィッセル神戸 表敬訪問 (2024.2.14)

神戸を支える各種団体との交流



様々な専門分野の協会、連合、団体の総会、大会や集会に参加し、多くのご意見やご要望等を頂き、市政へ反映できるように鋭意取り組んでおります。

- ・神戸市設備協会の第36回 通常総会・懇親会 出席 (2023.5.17)
- ・神戸市民間病院協会・神戸市第二次救急病院協議会 総会・懇親会 出席 (2023.5.24)
- ・神戸市小売市場連合会第75回 定時総会 出席 (2023.6.27)
- ・神戸市商工団体総連合会70周年記念式典 出席 (2023.7.14)
- ・神戸市社会福祉大会 出席 (2023.9.7)
- ・篤志者感謝状贈呈式 出席 (2023.9.12)
- ・神戸商工会議所 川崎 博也 会頭 要望書 受理 (2023.9.25)
- ・神戸市商工団体優良従業員合同表彰式 出席 (2023.10.3)
- ・民間社会福祉施設職員激励会 出席 (2023.11.27)
- ・婦人市政懇談会 全市総括集会 出席 (2023.12.12)
- ・中央卸売市場本場 令和6年新年祝賀会 出席 (2024.1.5)
- ・近畿非破壊検査連合会 令和6年新年祝賀会 出席 (2024.1.15)
- ・神戸市私立幼稚園連盟新年交歓会 出席 (2024.1.26) など

外国賓客・外国公館等との交流



外国の方々との意見交換や交流では、各国の異なる文化や価値観に寄り添い、心を込めて応対し、自国を振り返るきっかけとなります。

- ・在大阪・神戸米国総領事館 リチャード・メイ・ジュニア総領事 表敬訪問 (2023.6.21)
- ・ウクライナ・リヴィウ市長(国際フロンティア産業メッセ2023出展)来神 (2023.9.6)
- ・駐神戸大韓民国総領事館 イ サンヨル 総領事 表敬訪問 (2023.9.8)
- ・中国 天津市 朱鵬天津市人民政府副市長・訪問団 来神 (2023.9.14)
- ・ドイツ ザールラント州首相、大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事 表敬訪問 (2023.9.28)
- ・ISA(国際海底機構)マイケル・ロッジ事務局長 表敬訪問 (2024.2.22) など

神戸甲北高等学校で主権者教育 実施!

主権者教育とは、国や社会の問題を自分の問題として捉え、自ら考え、自ら判断し、行動していく主権者を育成していくことです。



神戸市議会と兵庫県立神戸甲北高等学校が連携した主権者教育を実施し、議長、副議長ほか17名の議員が参加しました。

神戸甲北高校では独自に「神戸の研究」の科目を設定し、神戸市の魅力発信や課題解決に取り組む授業を行っています。

1時間目は、生徒から議員に対し、日頃感じている疑問に関する質問が行われました。また、課題「神戸市の子育て支援施策はどこに重点を置くべきか」について、参加議員から「神戸の研究」の発表者から意見表明などがありました。2時間目は、グループに分かれて生徒間で課題に関するディスカッションが行われ、各教室を議員が参観し意見交換を行いました。

全国市議会議長会 会長として協議・要望活動



「国と地方の協議の場」では、岸田内閣総理大臣、林内閣官房長官、松本総務大臣、自見内閣府特命担当大臣(地方創生)、赤澤財務副大臣、斉藤国土交通大臣、武見厚生労働大臣、河野デジタル大臣兼デジタル行財政改革担当大臣兼デジタル田園都市国家構想担当大臣、加藤内閣府特命担当大臣(こども政策 少子化対策 若者活躍 男女共同参画)と協議。

2023.10.19

令和5年度 第2回「国と地方の協議の場」開催(総理大臣官邸)
「デジタル行財政改革及び地方分権改革の推進」「こども・子育て政策」「マイナンバー総点検」について協議しました。

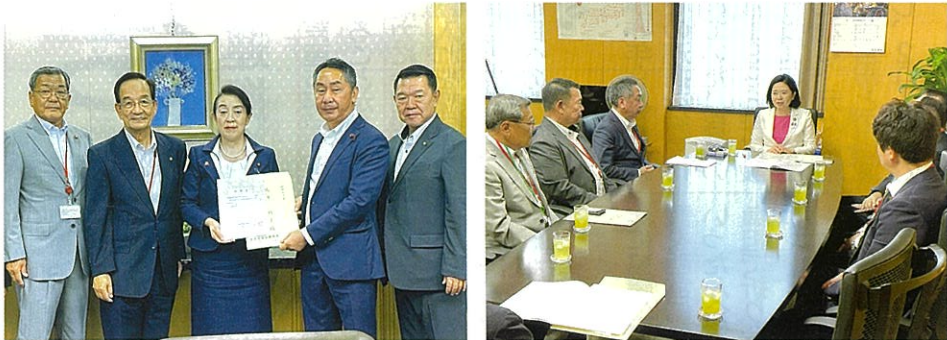
2023.12.18

令和5年度 第3回「国と地方の協議の場」開催(総理大臣官邸)
地方六団体の代表として「令和6年度予算編成及び地方財政対策」
①地方税財政の充実強化について②こども・子育て政策の財源確保について③活力ある地方議会の創出について協議しました。



2023.12.20

第9回 防災推進国民会議(総理大臣官邸)出席



尾身朝子 総務副大臣 (2023.7.28)

自見はなこ 内閣府大臣政務官 (2023.7.28)

2023.7.28

- 尾身朝子 総務副大臣
- 自見はなこ 内閣府大臣政務官
- 橘慶一郎 自由民主党総務部会

第99回定期総会で決定した要望
「多様な人材の市議会への参画促進」
「地方税財源の充実強化」
「デジタル田園都市国家構想の着実な推進」
「デジタル格差の解消」

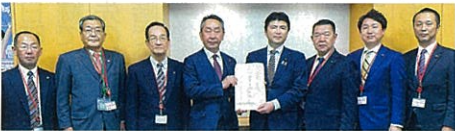
2023.11.9

- 村井英樹 内閣官房副長官
- 古賀友一郎 内閣府大臣政務官
- 馬場成志 総務副大臣
- 濱地雅一 厚生労働副大臣
- 萩生田光一 自由民主党政務調査会長

全国市議会議長会 指定都市協議会 要望活動
「多様な大都市制度の早期実現」
「地方税財源の充実確保」
「地方議会議員の厚生年金への加入」
「感染症対策や物価高騰への対応」

2023.11.20

- 馬場成志 総務副大臣
- 石川昭政 内閣府副大臣
- 古賀友一郎 内閣府大臣政務官
- 根本幸典 自由民主党総務部会長
- 橘慶一郎 自民党「地方議会の課題に関するPT」幹事長
- あかま二郎 自民党「地方議会の課題に関するPT」事務局長



第115回評議員会で決定した要望
「多様な人材の市議会への参画促進」
「ポストコロナを展望した地方行財政の充実」

2023.12.21

- 松本剛明 総務大臣
- 盛山正仁 文部科学大臣
- 石田真敏 自民党「地方議会の課題に関するPT」座長
- 橘慶一郎 自民党「地方議会の課題に関するPT」幹事長

将来の地方自治を担う子どもたちに対して、議員自らが議会・議員の活動を伝えることが重要であり、議会自らが主体的に行う主権者教育の取組に対する支援を要望する。

久元市長と指定都市を代表し要望活動



上川陽子 自民党幹事長代理 (2023.7.13)



馬場成志 総務副大臣 (2023.10.7)



萩生田光一 自由民主党政務調査会長 (2023.10.7)

指定都市市長会会長である久元市長と共に、指定都市を代表し、総務省及び自由民主党に「令和6年度国の施策及び予算に関する提案」「大都市財政の実態に即応する財源の拡充」について要望活動を行いました。

女性が変わる地方議会

地方議会での女性議員の増加を歓迎したい。市民と距離が近い市議会では民意を集約して市政に反映することがより重要になる。

一般に女性議員は保護者の立場や、子育てや介護に取り組んだ経験から、生活に身近な問題に対する意識が強い。地域サービスを女性の視点で分析して解決に取り組むことで、より使いやすい政策になったり議案の多様性につながったりしている。今後も女性議員は増えていくのではないかと。女性議員が働きやすい環境を整えるため、議員活動と出産や子育てなどを両立するための体制整備は欠かせない。地方議会のデジタル化を進め、事情により議場に参集できない場合に備えてオンライン開催

生活視点で分析、解決

を進める必要がある。自身が議長を務めている神戸市議会では、女性議員の意見をもとにセキュリティを強化したり、プライバシー配慮の観点から議員控室の一部にパーティションを置いたりした。男女を問わず議員にハラスメント研修やサポートを行う体制整備も欠かせない。議員は常に批判的になるリスクをばらみ、希望者は減少傾向にある。人口減少の社会も見据えれば、女性の活躍の場が広がっていく現在の状況からこそ、男女を問わずいい人材に「議員になりたい」と思ってもらえる環境整備も必要だ。そのために若者や会社

員など多様な人材が議会に参画したくなるよう、議員の厚生年金や退職金制度の導入を含めた社会保障の充実の議論を進めたい。

それぞれの議員がどのような主張をしてどのような実績を残したのか「見える化」するための仕組みの構築も、潜在的に議員になる可能性を秘めた候補者に向けたアプローチとしては必要だろう。議員になると何が出来るのか、自分ならどうしたいと思えるのかを考えるきっかけになるのではないかと。

男女を問わず、地方議員を経験してから国会にチャレンジするというキャリアパスは

もっと確立されてよ
いと感じる。地方の
実態や政治の基本を
理解した国会議員が
増えれば、国会の活
性化にもつながると
期待している。
(聞き手は堀尾宗正)

全国市議会議長会会長
坊 恭寿氏



能登半島地震に関する緊急要請を



林 芳正 内閣官房長官

古賀 篤 内閣府副大臣



松本 剛明 総務大臣

斉藤 鉄夫 国土交通大臣

渡海 紀三朗 自由民主党政務調査会長

【2024年1月19日】全国市議会議長会 会長として北信越市議会議長会とともに、林 芳正 内閣官房長官、古賀 篤 内閣府副大臣、松本 剛明 総務大臣、斉藤 鉄夫 国土交通大臣、渡海 紀三朗 自由民主党政務調査会長(令和6年能登半島地震対策本部長代行)に対し、令和6年能登半島地震に関する緊急要請を行い、「被災者の救援・救護」「被災地域の早期復旧・復興」「国の財政支援措置」について要請を行いました。



全国市議会議長会 正副会長会議



阪南市議会議長会

【2024年1月25日】全国市議会議長会 正副会長会議 水戸市(茨城県)
 【2024年1月29日】阪南市議会議長会 但南健康福祉センター(丹波篠山市)両会議で、令和6年能登半島地震に関する要請活動や義援金口座の開設について報告を行い協力を求めました。



【2024年1月30日】令和6年能登半島地震 被災地支援のための神戸市職員退職者の派遣出発式で激励。

能登半島地震で被災した自治体を支援するため、神戸市職員退職者6名と現職員2名が石川県に1月30日から派遣。

阪神・淡路大震災において消防やインフラ復旧、給付事務などを経験した神戸市の元職員(60~80代)らでつくる先遣調査チームが、能登半島地震の被災地である石川県の珠洲市や輪島市などで被害状況を調査し、現地の行政職員とも情報交換しながら、被災者の生活再建やまちの復旧段階において必要な支援方法を検討します。

エコかつ毎年数億円の収入増実現へ!

坊やすなが 環境局 令和2年10月8日

神戸市港島クリーンセンターの高効率発電機は周辺市のゴミ処分発電を行うことで財政貢献できるのでは。

港島クリーンセンターは、平成29年4月に最新の発電システムを採用し全国的にも有数の高効率発電を行っております。建設費が400億、耐用年数が40年との事ですが、神戸市の3つのクリーンセンターでの発電収入は、全体で約20億円の収入がございませう。東・西クリーンセンターの発電機も最新の発電施設にかえれば、全体で40億程度の売電収入を確保でき、大幅に財政貢献ができるのではないのでしょうか。

環境分野の行政改革を前進させます!



また、この高額な焼却場、発電の施設を神戸市周辺市が設置するには、ゴミの量も発電量も少なく採算が合わない。そこで、周辺市に声をかけて周辺市のゴミを神戸市で焼却する事で、処分費収入が見込まれ、そのゴミを燃やし発電をすれば売電収入も見込める。多大な財政貢献となり、進めるべきかと考えます。

環境局担当部長

クリーンセンターの更新には多額の経費が掛かりますが坊議員ご指摘の通り、可能な限り最先端の技術を活用し周辺市のゴミ処分と発電を研究していきたい。

芦屋のごみ、神戸で焼却へ 広域化調整

収集・運搬や費用負担協議

神戸市と芦屋市が、ごみ処理を広域化する方向で検討していることが8日、関係者への取材で分かった。処理能力に余裕がある神戸の焼却施設で芦屋のごみの受け入れを想定し、共同処理により温室効果ガスの削減などを見込む。収集・運搬の在り方や費用負担で市民への影響を最小限に抑えるよう協議を進めている。(金 晃章、村上貴浩)

芦屋市が昨年9月、ごみ処理などでの連携を神戸市に申し入れていた。自前の処理施設は1996年に設置され、今後10年程度で更新が必要になる。元々は前市長時代に西宮市との広域化を模索し、2017~21年に協議。可燃ごみ焼却施設を西宮に新設することでいったん合意したが、費用負担で折り合わず白紙となった。

昨春の芦屋市長選で初当選した高島峻輔市長が広域化の実現に意欲を示し、神戸市のごみ排出量は人口減少などを背景に減少傾向にあり、可燃ごみは22年度が約23万6千トンで、10年間で約12%(約3万トン)減った。関係者によると、芦屋市の年間排出量(22年度は約2万5千トン)なら既存の焼却施設(神戸市東灘中央、西区)で対応可能。蒸気を活用した発電設備もあり、焼却量が増えれば発電効率が高まるという。

神戸市内のごみ排出量は人口減少などを背景に減少傾向にあり、可燃ごみは22年度が約23万6千トンで、10年間で約12%(約3万トン)減った。関係者によると、芦屋市の年間排出量(22年度は約2万5千トン)なら既存の焼却施設(神戸市東灘中央、西区)で対応可能。蒸気を活用した発電設備もあり、焼却量が増えれば発電効率が高まるという。

両市は目下、広域化の前提として市民負担の抑制策を協議。ごみ運搬車が神戸を行き交う頻度を減らすため、芦屋市内で収集したごみを同市の中継施設でパッカー車から大型車両に積み替え、搬送することを検討している。車両は一般道ではなく高速道路を走行し、神戸市民への影響を抑える考え。芦屋市側は、ごみ収集の日時を従来通りの運用で継続できるとみている。搬入先の神戸市の施設は調整段階で、費用負担については今後協議する見通し。

ごみ処理での自治体連携は施設の集約化につながる。単独処理より経費を抑え、環境負荷の低減も期待できるとして、国や兵庫県も推奨している。

神戸新聞 2024.2.9

お問い合わせ・あらゆるご相談は
神戸市議員



坊やすなが まで

〒651-1301 神戸市北区藤原台北町2-11-6
 TEL 078-983-1711 FAX 078-983-1719
 E-mail yasunaga.bo@gmail.com

▼2月7日
開幕100日前イベントにて



△スマレゾカーと
ともに

世界パラ陸上競技選手権大会、 5月17日開幕!!

100日前イベントに参加しました。
チケット代の一部は被災地支援に使用されます。



↑
チケット販売情報



↑
競技日程はこちら

ご挨拶

お世話になります、山口由美です。

元旦に発生しました能登半島地震において、犠牲となられた方々に心よりご冥福をお祈りし、被害に遭われた方々にお見舞いを申し上げます。神戸市職員の皆さんによる被災地支援も続いておりますが、まもなく神戸で開催される世界パラ陸上によって、神戸から被災地に元気を届けたいと思います。

さて、令和6年度予算の審議もまもなく終わろうとしています。財政は依然として厳しい状況ですが、安心安全への取り組みや子育て支援の充実など、これまで関わったことが予算化されており、手応えを感じております。引き続き、ご指導の程よろしくお願いたします。



神戸市会議員

作成者 **山口 由美**

西区選出5期目

ご意見・
ご感想は…

山口由美市政事務所 TEL/FAX 078-777-6933
E-mail.yamaguchi@yumiguma.com



Topics 1

山口由美の市政への提案



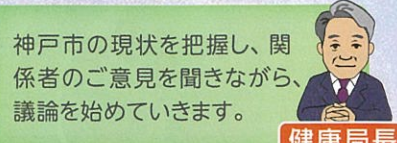
1 新生児の転院搬送について

▶2月26日
予算特別委員会
第2分科会



神戸で安心して出産し、生まれた子が命を落とすことなく、適切な医療につながり、出産を支える医療機関の不安や負担を減らす体制を作っていただきたいです。

山口



神戸市の現状を把握し、関係者のご意見を聞きながら、議論を始めていきます。

健康局長

産科クリニック

(一次分娩施設など)

市内14病院

地域周産期病院

(西神戸医療センターなど)

市内8病院

出生時の異常

搬送

総合・地域周産期母子医療センター

(A)県立こども病院 (B)中央市民病院
(C)神大病院 (D)済生会病院

[R4年搬送件数]

A 142件 B C D

[搬送手段]

迎え搬送 52件 救急車 141件 その他



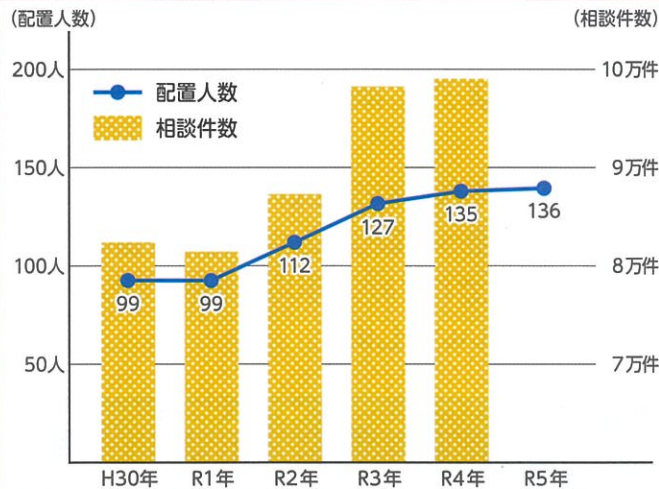
新生児搬送用救急車と車内の様子

課題

- ①どこに、どのように搬送するのか各医療機関に委ねられている **明確なルールなし**
- ②転院搬送に救急車(市消防局)が使われている **出動件数の増**
- ③救急車では対応できないケースもある **特殊な機器・産科医同乗不可など**

2 児童精神科医療の体制について

■ 市立学校園におけるスクールカウンセラーの配置人数と相談件数の推移



子どもたちの心の問題は医療につながることによって改善されることもあります。精神疾患の発症は10代前半が多いという研究結果もあり、市内精神科病院のご協力の下、児童精神科医療の体制強化をお願いしたいです。



山口

まずは現状と課題の把握に努めます。



保健所長

Topics 2

令和6年度予算に関する意見

1 軽度・中等度難聴児補聴器等購入費助成事業

所得制限撤廃!



所得制限の撤廃ありがとうございます。今後は国の支援も求めていきます。

山口



現在の制度はこちら

■ 難聴対策 身体障害者手帳

難聴度	聴力	備考
軽度難聴	25dB~39dB	小さな声や雑音かでの会話の聞き違いや聞き取り困難を自覚。
中等度難聴	40dB~69dB	普通の大きさの声の会話の聞き違いや聞き取り困難を自覚。
高度難聴	70dB~89dB	非常に大きい声か補聴器をしないと会話に聞こえない。聞き取りに限界あり。
重度難聴	90dB~	補聴器でも聞き取れないことが多く、人工内耳の装着が考慮される。

WHO 常時補聴器着用推奨
身体障害者手帳交付対象

資料：日本聴覚医学会「難聴対策委員会」の資料を基に作成

2 障がい者の超短時間雇用創出プロジェクト



平成29年から全国に先駆けて始めたプロジェクトに来年度の予算は計上されていません。来年度から週20時間未満の労働も法定雇用率に算定されるようになるタイミングなので、取り組みは弱めないでほしいです。

山口



くわしくはこちら

■ 障がい者の超短時間雇用プロジェクト別実績

	東灘区	灘区	中央区	兵庫区	北区	長田区	須磨区	垂水区	西区	神戸市以外	合計
人数	7人	4人	4人	5人	13人	4人	8人	56人	20人	3人	124人
%	5.6%	3.2%	3.2%	4.0%	10.5%	3.2%	6.5%	45.2%	16.1%	2.4%	100.0%

資料：神戸市福祉局から提供された資料を基に作成

3 精神疾患の方への支援



2017年以降、精神保健福祉には特に力を入れてきました。来年度は改正精神保健福祉法が施行され、神戸市の予算も大幅に拡充されます。引き続き、取り組みを続けていきます。

山口

■ これまでの経緯

- 2017年 相模原障害者施設殺傷事件 措置入院者のフォローアップへの関心
- 2020年 神出病院の虐待事件発覚 神戸市会から国へ法改正(虐待通報義務化)を求める意見書提出
- 2022年 精神保健福祉法改正
- 2024年 改正精神保健福祉法(虐待通報義務等)が施行

▼2月28日
予算特別委員会
健康局審査

神出病院の改善状況

令和2年に発覚した神出病院の虐待事件について、改善に向けた取り組みは道半ばだが一定の評価ができる、と健康局長のコメントがありました。



改善状況についてはこちら



Topics 3

政令市の被災地支援について



久元市長が会長を務める指定都市市長会が、連携・役割分担しながら被災自治体を支援しています。

山口



指定都市市長会の支援について

市民ボランティア団体への活動費助成

1件 **30万円** (上限) ※受付は R6年3月13日まで
来年度は未定ですが、継続の場合は神戸市HPでお知らせする予定だそうです。



神戸市HP



▲ 阪神・淡路大震災の経験者 60~80歳代の職員OB、6名を能登に派遣



▲ 神戸市役所で珠洲市の「被災者支援制度パンフレット」をつくりました



▲ 地上部隊が未踏の地でヘリで救助活動



▲ 輪島市における倒壊家屋



Topics 4

区民の方からのご意見とその対応状況（一部抜粋）

1 医療的ケア児の通院支援



お母さん

子どもの通院の頻度が増え、もう少し福祉サービスで支援してほしいのですが…

通院は原則として保護者同伴ではありますが、保護者の方の事情をお聞きして、工夫できないか、区役所に相談しています。議会でも保護者の支援について取り上げました。



山口

2 駅周辺のムクドリ被害



駅周辺住民

仕事から帰ってきた夕方に、西神中央駅周辺でムクドリの泣き声がひどいです。

鳥獣害については、建物の所有者等に対応義務はあるものの、環境局がムクドリの行動調査を行うなど被害の原因分析ができるような専門家の派遣を考えてくださっています。今後も行政と一緒に対策を考えていきます。



山口

学園都市駅では糞の被害がひどいです。



駅周辺住民



2月28日予算特別委員会で文化スポーツ局へ質問

自民党吉田健吾が考える

人口減少時代の公共施設整備

吉田健吾が2月28日の神戸市会予算特別委員会で質問した人口減少時代の公共施設整備について神戸市民からの疑問に対してインタビュー形式でわかりやすくお伝えします。

こんにちは、吉田さん！

先日の文化スポーツ局への質問を拝見しました。

なぜ**ポートアイランドスポーツセンター**（以下、PSC）の再整備プロジェクトを取り上げたんですか？

その背後にはどんな思いや経験があるのでしょうか？



吉田 ありがとうございます！

PSCは築40年を越えた施設で、再整備することになっています。当初、聞いた事業費が90億円台で、その時にも「高い!」と思いましたが、最終的な公募時点での事業費は149億円にもなっていました。投資するからには、**それ以上の効果が必要ですが、果たしてその効果が得られるのか大きな疑問**でした。

また、人口減少時代において各種事業は、大きくて高規格を求めるより、冷静に必要な性を考えながら進めるべきと考えています。

再整備の募集をしたとき、どうして

入札不調だったのでしょうか？

そのことについて

どう思いますか？

吉田 文化スポーツ局として、事業者にもヒアリングしながら公募条件を作っていく（その結果事業費が149億円にまでなり）ましたが、いざ公募を開始すると「万博・半導体工場建設などによる人手不足」「建築資材・人件費の高騰」が進み149億円でも収まらず、全社辞退という結果でした。

考え方含めて考え直すひとつのきっかけになったと思いました。ただ、天井が吊天井構造で、**安全性やメンテナンスを考えると早く再整備は進めないといけないことには変わりない**ですが。

人口減少をふまえて、スポーツセンターを

どうすればいいとお考えですか？

また、**どのように街の施設**

作り変えていけば

いいと思いますか？



吉田 水泳、スケートの全国級の大会誘致が掲げられていますが、そのためには客席数を多くしないといけません。そうすると、建物もその分大きくしなくてはなりません。それで建築コストは高くなりますし、センター内の空間も広くなり、光熱費など維持コストも高くなります。PSCは県大会レベルまでの仕様にしてコストを下げて、全国級や世界級の大会は、新しい神戸アリーナやワールド記念ホールに仮設プールやリンクで実施するという考え方に改めるべきだと思います。

◇ PSCのみならず、今後は各施設、慎重に**機能や設備の必要性を検討して、将来の維持管理コストにも目を配って考えていくべき**です。

この再整備が神戸市に

どんな良い影響を

与えると思いますか？

スポーツ文化を

どう育てていきたいですか？

吉田 この再整備では、市民の皆様が「するスポーツ」として、水泳、スケートにより親んでもらうことと、それぞれの競技団体とも協力しながら、市民に夢や希望を与えてくれる素晴らしい選手を育てる場所になってくれると思います。

私自身、市有地有効活用で長年取り組んでいたHAT神戸の人と防災未来センターに民設民営でスケートリンクができ、坂本花織選手はそちらで練習をされると思いますが、新リンクとも連携をとりながら**スポーツの持つ力に一人でも多くの方に触れていただきたい**です。



意見を考えるときに

大切にしていることは何ですか？

その考えを

スポーツセンターの計画に

どう反映させていますか？

吉田 人口・経済が右肩上がりの時代は終わり、人口は減少し、経済も予断を許さない時代になっています。市の人口は2010年に最大の154.4万人いましたが、今から30年後には111.2万人と推計されています。より良い未来、より負担の少ない未来を次代に繋ぐためには、時代背景の違いを認識して、今の時代、**これからの時代を思い描きながら、考え方を一新**させなければなりません。PSCも、**30年後も50年後も市民の元気に役立つように、今後も提言**していきます。



ずっといっしょ。まっすぐ未来へ。

自由民主党神戸市議員団
神戸市議員 灘区

吉田健吾



2月28日
予算特別委員会で質問

神戸市政報告

灘区版

2024.03
vol. 21

発行日 ● 令和6年3月17日
発行元 ● 自由民主党神戸市議員団
〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5-1
TEL078-322-5846 <http://www.jimin-kobe.com>

2月15日から令和6年度当初予算を審議する議会がはじまり、海と山が育むグローバル貢献都市の実現～人口減少時代における持続可能なまちづくり～として、「持続可能な神戸を創る」など6つの柱に整理をして説明がされました。高校生通学定期の無料化、六甲山マウンテンバイクコース整備、次期総合基本計画の策定など気になる施策

がたくさんあります。

予算特別委員会にて局別審査が行われますが、会派内で担当局の割り振りを決めて手分けをする関係上、今回は文化スポーツ局と教育委員会に対して質問をしました。詳しくは裏面や中面に記載されていますので、ご一読いただけましたら幸いです。

令和6年度神戸市の予算

予算総額:1兆9,270億円(前年比:+77億円)

一般会計 9,057億円(前年比:+263億円)

福祉、教育、道路・公園の整備など、市の基本的な事業を行う会計です。

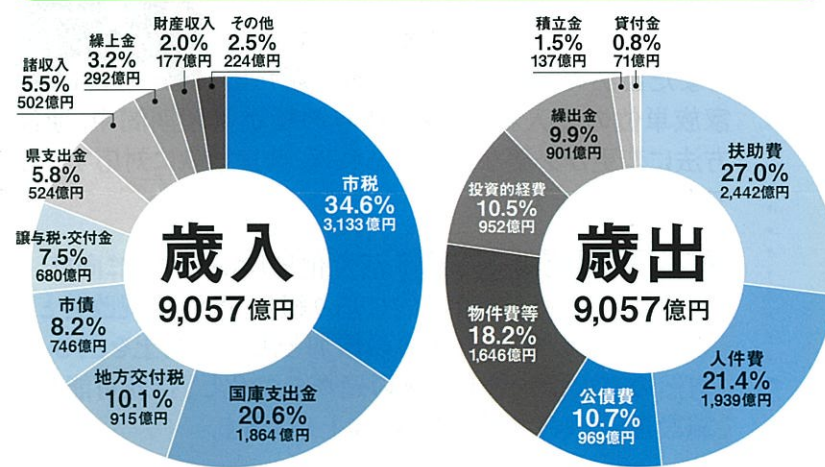
特別会計 6,711億円(前年比:-92億円)

国民健康保険や介護保険、市営住宅など、特定の収入で行う事業の会計です。

企業会計 3,502億円(前年比:+218億円)

バスや地下鉄、上下水道など、主に利用者のみなさんが支払う料金収入等で行う事業の会計です。

一般会計予算の概要



海と山が育むグローバル貢献都市の実現

市民1人あたりの行政コスト

一般会計の支出を市民一人あたりにすると

60万円になります



※令和5年12月31日時点の住民基本台帳に基づく人口1,499,510人で算出しています。
※本予算案は議会での議決を経て成立した上で、実施されます。

令和6年度予算案ならびに関連議案について意見表明を行いました

3月13日に行われました予算特別委員会で意見表明があり、自由民主党神戸市議員団は令和6年度神戸市各会計予算案並びに関連議案、合計53議案について、要望22件を付して承認しました。

要望事項(抜粋) ●王子公園の再整備に伴い、今年最後の営業となる王子プールなどについては、市民と利用者の記憶に残る行事を行うとともに、記録を残すこと。
●児童生徒に寄り添った教育を一層推進するため、根本的な教育内容や授業の仕組みの変更、いじめなど対応チームの創設など、固定概念に捉われず改革を進めること。(その他合計22項目)

2.28 文化スポーツ局

委員会の
録画中継は
こちら▶  詳しい
議事録は
こちら▶ 

3.6 教育委員会

委員会の
録画中継は
こちら▶  詳しい
議事録は
こちら▶ 



**大胆に
再検討**

2月28日
予算特別委員会にて質問

1. ポートアイランドスポーツセンターの再整備について

吉田健吾 ポートアイランドスポーツセンターの再整備計画では、PFI方式*による事業者の公募が実施されたものの、全入札参加者の辞退で入札不調となりました。これを受け、令和6年度予算案には、整備内容と手法の再検討費用が計上されました。施設は年間約24万人が訪れ、水泳では約13万3千人、スケートでは約6万7千人の利用があるなど、市民にとって重要な役割を担っています。神戸の将来を見据え、**人口減少時代にふさわしいまちづくりを目指す**中で、現在の施設と同じ機能以上の整備にこだわることなく、**求める機能を限定する、管理コストも見据える**など、立ち止まって1年かけて一度大胆に再検討する必要があるのではないのでしょうか。

*PFI方式…Private Finance Initiative、民間資金を活用して公共事業を実施する手法

檀特担当局長 約149億で公募したが、辞退に。再整備遅れの主因は建設業界の人手不足と資材・人件費の高騰。新たな公募と仕様見直しを計画。人口減少を踏まえ、より幅広く市民が利用可能な施設への改善を目指し、慎重に検討を進める。

2. 青少年科学館リニューアルについて

吉田健吾 令和4年度から順次リニューアルが進む青少年科学館は、令和6年度で第二期の予算も計上されましたが、それでも一部未更新の展示室が残る状況です。中長期的視点から全体のリニューアル計画のための今後の予算がまだ担保されていないことを懸念しています。**施設の適切なマネジメントや今後の予算の確保**方針について教えてください。

宮道局長 ふるさと納税やクラウドファンディングを含む多角的な資金調達を検討。科学技術の日進月歩に対応し、科学館の更新と魅力維持に責任を持ち、予算の確保に努める。医療産業都市の先端技術の展示、神戸高专や神戸大学など教育機関との連携も強化し、科学館としての役割を果たす。

3. 王子公園再整備について



吉田健吾 王子公園の再整備が進行中で、**今年秋からプールが解体**。時期は未定ですがいずれスタジアムの再整備もある。一時的に使用できない期間があると予想されるため、学校園、老人会、競技団体等の従前利用者へ情報提供と丁寧な説明が求められます。新年度より建設局に再整備本部が設置され、ハード整備が一元的に進められる計画ですが、施設利用ができない期間の代替案提示や、**市民の声を反映した思い出深い最終営業の実現**を市全体として進めるべきです。

檀特担当局長 令和6年度には王子公園再整備本部が設置され、動物園ゾーン整備に伴いプール解体。再整備進捗は市ホームページや広報紙KOBEで情報発信。文化スポーツ局は関係団体との連携を維持し、代替施設案内と説明に努める。

4. 六甲山・摩耶山の活性化について

吉田健吾 六甲山・摩耶山の活性化策として、インバウンド客を含めた新規誘客のために、**携帯電波やWi-Fiの整備と多言語情報提供が重要**なので改善が必要です。また自然の家のリニューアルで新たに家族単位の受入れがある。10年の指定管理期間中、運営方法に変更が必要な部分があれば、適宜柔軟に対応すべきではないのでしょうか。

宮道局長・檀特担当局長 活性化とリニューアルに向け、文化スポーツ局が積極的に取り組む。電波状況改善とWi-Fi整備を進め、利用者の増加と快適性向上を図る。自然の家は指定管理者との連携を強化し、持続可能な施設運営と利用者満足度の向上を目指す。



1. 空き教室を利用した開かれた学校づくりについて

吉田健吾 コミュニティスクール推進で全小中学校に運営協議会が設置されました。地域活動や子育て支援に空き教室を活用し、地域と学校の連携を強化してはどうでしょうか？
教員も地域と交流し、**「開かれた学校づくり」を行い、学校の中で日常的に地域の方々と交流**があり、子どもたちの多様な成長を支える環境作りをすべきと考えますがいかがでしょうか？

工藤部長 開かれた学校作りを通じ、地域や企業との交流で生きる力を養う。令和4年度より、学校運営協議会を設置し、地域とともに子どもたちの成長を支える。学校施設の有効活用を図り、放課後学習や子育て支援、地域活動を推進して子どもたちの成長に繋げる。

3. これからの時代にふさわしい学校教育のあり方について

(1) 教員の役割について

吉田健吾 学校教育における教員の役割が、いじめや不登校、多文化対応など多様な児童生徒のニーズに対応する方向へと変化しています。教員には、多様性の理解・共感や子どもたちの自主性を促す能力が求められており、ICTの活用で**基本学習の効率化を図りつつ、寄り添いの時間を増やし、個々の能力を引き出す教育が必要**とされています。教員間の質の均一化とチームでの支援を強化し、時代に合った教育改革を進めることを提案します。

(2) 先進的な教育の取り組みについて

吉田健吾 AIなど急速な技術進化とグローバル化に対応するため、義務教育では情報活用能力、国際教育、主体性、創造力、問題解決能力などを重視した個別最適教育が求められます。横浜市の中学英語教育5ラウンドシステム、枚方市のタブレットの自由な活用など、各地の革新的な取り組みから学び、神戸市も**授業の根本的な改革を進める必要**があります。様々な先進例を参考に、神戸市独自のモデルを開発し、成功した教育手法を市全体に展開することで、多様なニーズに応え、教育の質を全体的に向上させることができます。**中高一貫校や特色ある教育選択肢の提供**を通じて、個々の才能を最大限に引き出し、将来を担う人材を育成する方針が重要ではないのでしょうか。

高田事務局長、柴田次長 先進的な横浜市・さいたま市の事例は参考に。新たな授業パッケージを開発中。中高一貫教育は1つの選択肢として重要。市立高等学校の在り方有識者会議での議論と、先進事例の調査研究で中高一貫教育の検討を進めていきたい。

2. いじめ事案など困難な事案への対応について

吉田健吾 いじめや学校事故の複雑な問題への対応で教員と管理職が精神的に疲弊している現状に注目し、**専門家チームの導入を提案**します。実際には学校が最前線で対応しており、教育委員会や弁護士からのサポートにも限界があるため、教員OBや弁護士を含む実働部隊を配置し、問題の初動から迅速かつ適切に対処する体制を構築することが教員保護と保護者の納得に繋がり児童生徒のためになる考えます。年間50件ものいじめ重大事態もあり、十分な人数の専門家に対応していくべきです。

高田事務局長 複雑な事案も増加し教員負担となっていて事務局との早期連携、専門家の支援体制強化が必要。不当とみられる要求対策として弁護士と管理職で対応することもある。初期対応の重要性と教員負担軽減に向けた継続的な支援強化を目指す。

長田教育長、柴田次長、濱田部長 教員の人間力とICT活用を通じた教育の質の向上を目指し、実践型研修と業務効率化を強化。学習指導方法の改善を進め、保護者や児童生徒との寄り添いを重視。学校組織としての組織力向上と教員間の連携を促進し、全員が質の高い対応を目指す。



3月6日予算特別委員会にて質問▶



**神戸市独自の
モデル**



2月28日予算特別委員会で文化スポーツ局へ質問

自民党吉田健吾が考える

人口減少時代の公共施設整備

吉田健吾が2月28日の神戸市会予算特別委員会で質問した人口減少時代の公共施設整備について神戸市民からの疑問に対してインタビュー形式でわかりやすくお伝えします。

こんにちは、吉田さん！

先日の文化スポーツ局への質問を拝見しました。

なぜ**ポートアイランドスポーツセンター**（以下、PSC）の再整備プロジェクトを取り上げたんですか？

その背後にはどんな想いや経験があるのでしょうか？



吉田 ありがとうございます！

PSCは築40年を越えた施設で、再整備することになっています。当初、聞いた事業費が90億円台で、その時にも「高い!」と思いましたが、最終的な公募時点での事業費は149億円にもなっていました。投資するからには、**それ以上の効果が必要ですが、果たしてその効果が得られるのか大きな疑問**でした。

また、人口減少時代において各種事業は、大きくて高規格を求めるより、冷静に必要性を考えながら進めるべきと考えています。

再整備の募集をしたとき、どうして

入札不調だったのでしょうか？

そのことについて

どう思いますか？

吉田 文化スポーツ局として、事業者にもヒアリングしながら公募条件を作っていく（その結果事業費が149億円にまでなり）ましたが、いざ公募を開始すると「万博・半導体工場建設などによる人手不足」「建築資材・人件費の高騰」が進み149億円でも取らず、全社辞退という結果でした。

考え方含めて考え直すひとつのきっかけになったと思います。ただ、天井が吊天井構造で、**安全性やメンテナンスを考えると早く再整備は進めないといけないことには変わりない**ですが。

人口減少をふまえて、スポーツセンターを

どうすればいいとお考えですか？

また、**どのように街の施設**

作り変えていけば

いいと思いますか？



吉田 水泳、スケートの全国級の大会誘致が掲げられていますが、そのためには客席数を多くしないといけません。そうすると、建物もその分大きくしなくてはなりません。それで建築コストは高くなりますし、センター内の空間も広くなり、光熱費など維持コストも高くなります。PSCは県大会レベルまでの仕様にしてコストを下げ、全国級や世界級の大会は、新しい神戸アリーナやワールド記念ホールに仮設プールやリンクで実施するという考え方に改めるべきだと思います。

PSCのみならず、今後は各施設、慎重に**機能や設備の必要性を検討して、将来の維持管理コストにも目を配って考えていくべき**です。

この再整備が神戸市に

どんな良い影響を

与えると思いますか？

スポーツ文化を

どう育てていきたいですか？

吉田 この再整備では、市民の皆様が「するスポーツ」として、水泳、スケートにより親しんでもらうことと、それぞれの競技団体とも協力しながら、市民に夢や希望を与えてくれる素晴らしい選手を育てる場所になってくれると思います。

私自身、市有地有効活用で長年取り組んでいたHAT神戸の人と防災未来センターに民設民営でスケートリンクができ、坂本花織選手はそちらで練習をされると思いますが、新リンクとも連携をとりながら**スポーツの持つ力に一人でも多くの方に触れていただきたい**です。



意見を考えるときに

大切にしていることは何ですか？

その考えを

スポーツセンターの計画に

どう反映させていますか？



吉田 人口・経済が右肩上がりの時代は終わり、人口は減少し、経済も予測を許さない時代になっています。市の人口は2010年に最大の154.4万人いましたが、今から30年後には111.2万人と推計されています。より良い未来、より負担の少ない未来を次代に繋ぐためには、時代背景の違いを認識して、今の時代、**これからの時代を思い描きながら、考え方を一新**させなければなりません。PSCも、**30年後も50年後も市民の元気に役立つように、今後も提言**していきます。

ずっといっしょ。まっすぐ未来へ。

自由民主党神戸市議員団
神戸市議員 **灘区**

吉田健吾



2月28日
予算特別委員会で質問

神戸市政報告

灘区版

2024.03
vol. 21

発行日 ● 令和6年3月17日
発行元 ● 自由民主党神戸市議員団
〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5-1
TEL078-322-5846 <http://www.jimin-kobe.com>

2月15日から令和6年度当初予算を審議する議会がはじまり、海と山が育むグローバル貢献都市の実現～人口減少時代における持続可能なまちづくり～として、「持続可能な神戸を創る」など6つの柱に整理をして説明がされました。高校生通学定期の無料化、六甲山マウンテンバイクコース整備、次期総合基本計画の策定など気に

なる施策がたくさんあります。予算特別委員会にて局別審査が行われますが、会派内で担当局の割り振りを決めて手分けをする関係上、今回は文化スポーツ局と教育委員会に対して質問をしました。詳しくは裏面や中面に記載されていますので、ご一読いただけましたら幸いです。

令和6年度神戸市の予算

海と山が育むグローバル貢献都市の実現

予算総額:1兆9,270億円(前年比:+77億円)

市民1人あたりの行政コスト

一般会計の支出を市民一人あたりにすると

60万円になります

一般会計 9,057億円(前年比:+263億円)

福祉、教育、道路・公園の整備など、市の基本的な事業を行う会計です。

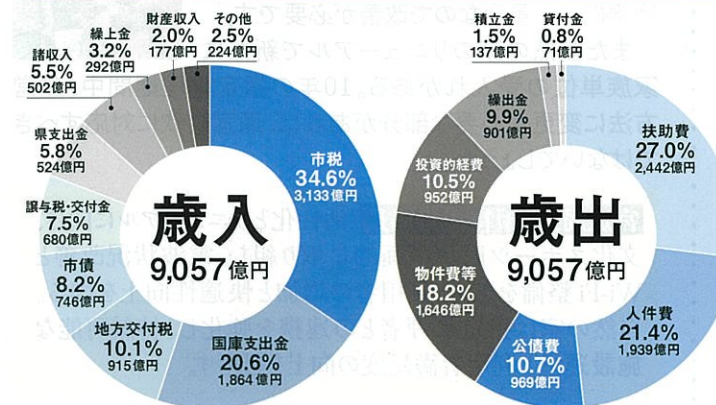
特別会計 6,711億円(前年比:-92億円)

国民健康保険や介護保険、市営住宅など、特定の収入で行う事業の会計です。

企業会計 3,502億円(前年比:+218億円)

バスや地下鉄、上下水道など、主に利用者のみさんが支払う料金収入等で行う事業の会計です。

一般会計予算の概要



※令和5年12月31日時点の住民基本台帳に基づく人口1,499,510人で算出しています。
※本予算案は議会での議決を経て成立した上で、実施されます。

令和6年度予算案ならびに関連議案について意見表明を行いました

3月13日に行われました予算特別委員会で意見表明があり、自由民主党神戸市議員団は令和6年度神戸市各会計予算案並びに関連議案、合計53議案について、要望22件を付して承認しました。

要望事項(抜粋) ●王子公園の再整備に伴い、今年最後の営業となる王子プールなどについては、市民と利用者の記憶に残る行事を行うとともに、記録を残すこと。
●児童生徒に寄り添った教育を一層推進するため、根本的な教育内容や授業の仕組みの変更、いじめなど対応チームの創設など、固定概念に捉われず改革を進めること。(その他合計22項目)

2.28 文化スポーツ局

委員会の
録画中継は
こちら▶



詳しい
議事録は
こちら▶



大胆に
再検討

2月28日
予算特別委員会にて質問

1. ポートアイランドスポーツセンターの再整備について

吉田健吾 ポートアイランドスポーツセンターの再整備計画では、PFI方式*による事業者の公募が実施されたものの、全入札参加者の辞退で入札不調となりました。これを受け、令和6年度予算案には、整備内容と手法の再検討費用が計上されました。施設は年間約24万人が訪れ、水泳では約13万3千人、スケートでは約6万7千人の利用があるなど、市民にとって重要な役割を担っています。神戸の将来を見据え、**人口減少時代にふさわしいまちづくりを目指す**中で、現在の施設と同じ機能以上の整備にこだわることなく、**求める機能を限定する、管理コストも見据える**など、立ち止まって1年かけて一度大胆に再検討する必要があるのではないのでしょうか。

*PFI方式…Private Finance Initiative、民間資金を活用して公共事業を実施する手法

檀特担当局長 約149億で公募したが、辞退に。再整備遅れの主因は建設業界の人手不足と資材・人件費の高騰。新たな公募と仕様見直しを計画。人口減少を踏まえ、より幅広く市民が利用可能な施設への改善を目指し、慎重に検討を進める。

2. 青少年科学館リニューアルについて

吉田健吾 令和4年度から順次リニューアルが進む青少年科学館は、令和6年度で第二期の予算も計上されましたが、それでも一部未更新の展示室が残る状況です。

中長期的視点から全体のリニューアル計画のための今後の予算がまだ担保されていないことを懸念しています。**施設の適切なマネジメントや今後の予算の確保**方針について教えてください。

宮道局長 ふるさと納税やクラウドファンディングを含む多角的な資金調達を検討。科学技術の日進月歩に対応し、科学館の更新と魅力維持に責任を持ち、予算の確保に努める。医療産業都市の先端技術の展示、神戸高专や神戸大学など教育機関との連携も強化し、科学館としての役割を果たす。

4. 六甲山・摩耶山の活性化について

吉田健吾 六甲山・摩耶山の活性化策として、インバウンド客を含めた新規誘客のために、**携帯電話やWi-Fiの整備と多言語情報提供が重要**なので改善が必要です。

また自然の家のリニューアルで新たに家族単位の受入れがある。10年の指定管理期間中、運営方法に変更が必要な部分があれば、適宜柔軟に対応すべきではないのでしょうか。

宮道局長・檀特担当局長 活性化とリニューアルに向け、文化スポーツ局が積極的に取り組む。電波状況改善とWi-Fi整備を進め、利用者の増加と快適性向上を図る。自然の家は指定管理者との連携を強化し、持続可能な施設運営と利用者満足度の向上を目指す。



3. 王子公園再整備について



吉田健吾 王子公園の再整備が進行中で、**今年秋からプールが解体**。時期は未定ですがいずれスタジアムの再整備もある。一時的に使用できない期間があると予想されるため、学校園、老人会、競技団体等の従前利用者へ情報提供と丁寧な説明が求められます。

新年度より建設局に再整備本部が設置され、ハード整備が一元的に進められる計画ですが、施設利用ができない期間の代替案提示や、**市民の声を反映した思い出深い最終営業の実現**を市全体として進めるべきです。

檀特担当局長 令和6年度には王子公園再整備本部が設置され、動物園ゾーン整備に伴いプール解体。再整備進捗は市ホームページや広報紙KOBEで情報発信。文化スポーツ局は関係団体との連携を維持し、代替施設案内と説明に努める。

3.6 教育委員会

委員会の
録画中継は
こちら▶



詳しい
議事録は
こちら▶



1. 空き教室を利用した開かれた学校づくりについて

吉田健吾 コミュニティスクール推進で全小中学校に運営協議会が設置されました。地域活動や子育て支援に空き教室を活用し、地域と学校の連携を強化してはどうでしょうか？
教員も地域と交流し、**「開かれた学校づくり」を行い、学校の中で日常的に地域の方々と交流**があり、子どもたちの多様な成長を支える環境作りをすべきと考えますがいかがでしょうか？

工藤部長 開かれた学校作りを通じ、地域や企業との交流で生きる力を養う。令和4年度より、学校運営協議会を設置し、地域とともに子どもたちの成長を支える。学校施設の有効活用を図り、放課後学習や子育て支援、地域活動を推進して子どもたちの成長に繋げる。

3. これからの時代にふさわしい学校教育のあり方について

(1) 教員の役割について

吉田健吾 学校教育における教員の役割が、いじめや不登校、多文化対応など多様な児童生徒のニーズに対応する方向へと変化しています。教員には、多様性の理解・共感や子どもたちの自主性を促す能力が求められており、ICTの活用で**基本学習の効率化を図りつつ、寄り添いの時間を増やし、個々の能力を引き出す教育が必要**とされています。

教員間の質の均一化とチームでの支援を強化し、時代に合った教育改革を進めることを提案します。

(2) 先進的な教育の取り組みについて

吉田健吾 AIなど急速な技術進化とグローバル化に対応するため、義務教育では情報活用能力、国際教育、主体性、創造力、問題解決能力などを重視した個別最適教育が求められます。横浜市の中学英語教育5ラウンドシステム、枚方市のタブレットの自由な活用など、各地の革新的な取り組みから学び、神戸市も**授業の根本的な改革を進める必要**があります。様々な先進例を参考に、神戸市独自のモデルを開発し、成功した教育手法を市全体に展開することで、多様なニーズに応え、教育の質を全体的に向上させることができます。**中高一貫校や特色ある教育選択肢の提供**を通じて、個々の才能を最大限に引き出し、将来を担う人材を育成する方針が重要ではないのでしょうか？

高田事務局長・柴田次長 先進的な横浜市・さいたま市の事例は参考に。新たな授業パッケージを開発中。中高一貫教育は1つの選択肢として重要。市立高等学校の在り方有識者会議での議論と、先進事例の調査研究で中高一貫教育の検討を進めていきたい。

2. いじめ事案など困難な事案への対応について

吉田健吾 いじめや学校事故の複雑な問題への対応で教員と管理職が精神的に疲弊している現状に注目し、**専門家チームの導入を提案**します。
実際には学校が最前線で対応しており、教育委員会や弁護士からのサポートにも限界があるため、教員OBや弁護士を含む実働部隊を配置し、問題の初動から迅速かつ適切に対処する体制を構築することが教員保護と保護者の納得に繋がり児童生徒のためになる考えます。年間50件ものいじめ重大事案もあり、十分な人数の専門家に対応していくべきです。

高田事務局長 複雑な事案も増加し教員負担となっていて事務局との早期連携、専門家との支援体制強化が必要。不当とみられる要求対策として弁護士と管理職で対応することもある。初期対応の重要性と教員負担軽減に向けた継続的な支援強化を目指す。

長田教育長・柴田次長・濱田部長 教員の人間力とICT活用を通じた教育の質の向上を目指し、実践型研修と業務効率化を強化。学習指導方法の改善を進め、保護者や児童生徒との寄り添いを重視。学校組織としての組織力向上と教員間の連携を促進し、全員が質の高い対応を目指す。



神戸市独自の
モデル

3月6日予算特別委員会にて質問▶